

動画制作の軌跡



まぜらまぜ撮影で天下収材

埼玉県南西部地域振興センターの自転車ツアーパーのPR動画の話が来たのは5月。新しいことに挑戦できる喜びでいっぱいだった。

が来たのは5月。新しいことに挑戦できる喜びでいっぱいだった。どのような内容にするのか、振興センターの島田さんや池田さん、富澤さん、そしてライダーメンバーと話し合いを重ね、実際に自転車ツアード訪れる場所を下見を兼ねて見学し、イメージを膨らませながら絵コンテを作成した。

夏休みの8月下旬、3日間かけて撮影を敢行した。

雲行きが怪しかった日も撮影が始まれば太陽が顔を出してくれた。焼けつくような暑い日もあつたが、撮影は妙音沢や旧高橋家住宅な

どの朝霞市・志木市・新座市の計6ヵ所を行った。

動画の編集は、長編（約3分）と短編（約1分半）を

作るのに2日かかった。試作品を見てもらい、手直し。そして9月に実行委員会で私たちの作品をお披露目する機会を得た。

動画を発表したときに実行委員会の方々からお褒めの言葉をいただいた。中でも

1年生2人と2年生2人、3年生1人の計5人。春先から何度も打ち合わせを行い、夏休みには日焼けを気にしながら取材撮影を行つた。

撮りためた映像データの基本編集は2年生の竹山が担当し、私は音入れなどにかかわった。

自転車で走る場所や街並みが和やかという私なりの印象が、爽快感あふれるBGMを入れたいと考えた。

一番苦労した場面は、妙音沢のシーンだった。現地での沢の音がきれいで聞こえるであろう音に近い川のせせらぎと鳥のさえずりをインターネットから探し出して、追加した。

ツアーディレクター当日はあいにくの

昨年はAコースを走ったが、今回私が走ったのはBコース。

わったのは、ライデザ部の

音入れに苦心も出来栄えに満足

（竹山智美）

（大山彩花）

今後の自分の将来の力になつたと信じて、この経験を次に活かしていきたいと思う。

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）

ツアーライデザでPR長編、短編を部員が制作

雨模様で予定が変更になり妙音沢には行くことができなかつた。しかし、自転車が始まる集合時に参考されたときはとても嬉しかつた。

（竹山智美）

（大山彩花）

（竹山智美）

（大山彩花）